

人権・環境DD／CSDDDDを、 ワンストップで。

豊富なデータ × 人権・環境DDワークフロー × Agentic AI で、規制対応を確実に、負担を最小に。

REGULATION

なぜ今か — サステナブル調達の規制が世界で本格化

EU オムニバス法案 [CSDDDD/ CBAM] (2029-)

従業員千名以上・売上15億€超／直接＋間接取引先。EU顧客から人権・環境DD要求。

EU 強制労働製品禁止規則 (2027-)

EU市場に製品提供・輸出する業者が対象。違反製品は市場撤去・輸出停止。

ドイツ LKSG (2023-)

従業員千名以上／罰則 最大売上2%。独企業のサプライヤーは詳細な人権・環境情報を要求される。

米国 UFLPA (2022-)

米国輸入業者／直接＋間接仕入先。米国向け製品のチェック義務。

CSDDDD違反の制裁金は最大で 全世界売上高の5%以上。

SOLUTION

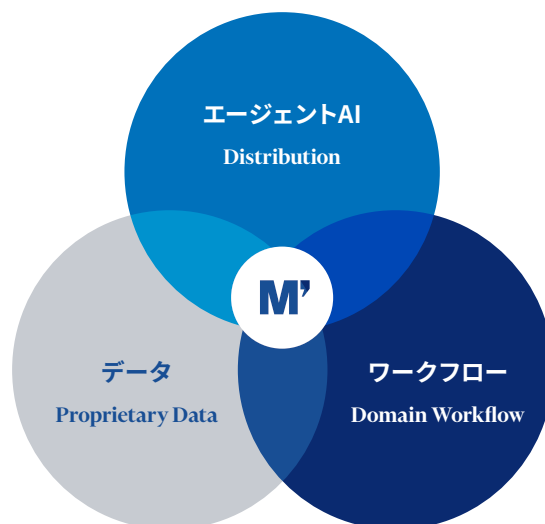
Moody's のソリューション サステナブル調達ソリューション



- ☑ 人権・環境DDを確実に進めたい
- ☑ 自社の負担を最小限にしたい
- ☑ 取引先の負担も最小限にしたい
- ☑ 既存の取引先管理とも整合させたい
- ☑ 監査にも対応できるようにしておきたい
- ☑ 国内外の潮流と整合させておきたい

STRENGTH

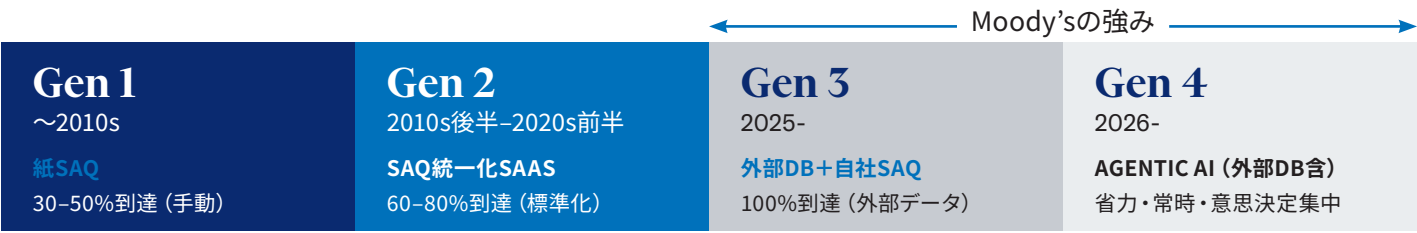
Moody's の強み 3つが揃う稀有な存在



- 豊富なデータ
深く・広く・構造化された6億社以上の一次データ
- ワークフローツール
サステナブル調達のワークフローを具備したSaaS基盤
- エージェントAI
非常に早期にLLMプロバイダーと連携し、ワークフローツールに統合

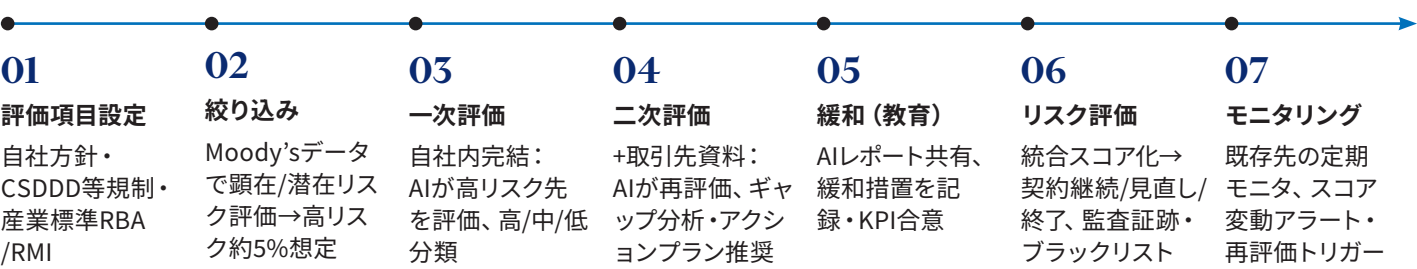
EVOLUTION

サステナブル調達の進化：SAQ から Agentic AI へ



WORKFLOW

導入イメージ - 7ステップで一つのプラットフォームに完結



リスクベースアプローチで約1%まで絞り込み。

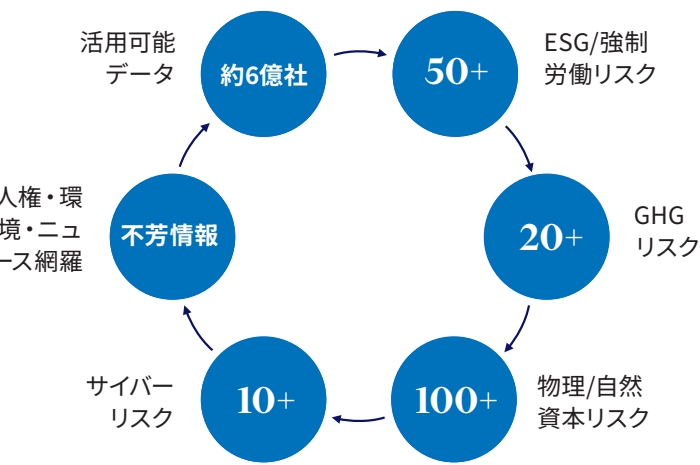
COMPARISON

他アプローチとの違い

観点	MOODY'S	ESG評価ベンダー	コンサル企業
スクリーニング	◎ 外部インテリジェンスでリスク有無を判断	△ 事象補足のみ	△ アドバイザリー
質問票運用	◎ 同一基盤で送付・評価 (処理エージェント)	△ 未捕捉先は自社運用 (二度手間)	△
自社負荷	◎ データで対象を絞り込み	○ 未回答先対応が重い	△ コンサルコスト
取引先負荷	◎ AIにより負担はほぼなし	△ 項目多く金銭負担	N/A
既存取引先管理との整合	◎ コンプラ・制裁基盤の拡張	△ 別基盤で管理	N/A
監査対応	◎ 監査証跡・外部エビデンスに強い	△ 弱い	N/A

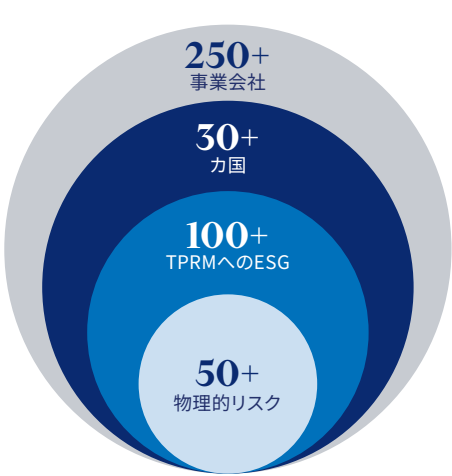
DATA

圧倒的なデータ網羅性



TRACK RECORD

導入実績 (事業会社)



日本のお問い合わせ
03-5408-4100
yudai.sasaki@moodys.com
担当: 佐々木
お問い合わせ・デモのご依頼はこちら:
www.moodys.com/web/ja/jp.html#contact



ムーディーズの企業情報・サードパーティ・リスク・プラットフォームは、ご利用用途に合わせ、複数のオプションを組み合わせ、カスタマイズしてご提供しています。効率を最大化し、サードパーティ全体のリスクを管理するための知見をご提供します。詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://events.moodys.com/jp/evt-244-evt-tpc-map28082-26-corp-coupa-tk/resources>